




各 位

2019年6月27日

会社名  日本タングステン株式会社
 代表者名 取締役社長 後藤 信志
 (コード番号 6998 東証2部、福証)
 問合せ先 取締役執行役員 大島 正信
 経営戦略本部長
 (TEL 092-415-5500)

(訂正)「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2019年5月16日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の記載の一部に誤りがありましたので、訂正いたします。

2. 訂正の内容

<添付資料 13 ページ>

3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)

【訂正前】

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 連結 財務諸表 計上額 (注3) |
|------------------------|---------|--------|--------|-------------|--------|-------------|---------------------------|
| | 機械部品事業 | 電機部品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,181 | 4,917 | 11,098 | 3 | 11,102 | — | 11,102 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 52 | 2 | 55 | 11 | 67 | △67 | — |
| 計 | 6,233 | 4,919 | 11,153 | 15 | 11,169 | △67 | 11,102 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 953 | 281 | 1,235 | △3 | 1,231 | △475 | 755 |
| セグメント資産 | 7,884 | 5,091 | 12,976 | 120 | 13,096 | 3,209 | 16,306 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 295 | 152 | 447 | 0 | 447 | 107 | 555 |
| 減損損失 | — | 69 | 69 | — | 69 | — | 69 |
| 持分法適用会社への投 資額 | 648 | — | 648 | — | 648 | — | 648 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 1,414 | 243 | 1,658 | — | 1,658 | 20 | 1,678 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業等を含んでおります。
- 2 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△475百万円は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は当社管理部門の一般管理費(△461百万円)であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,209百万円は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産であります。全社資産の主なものは、賃貸不動産及び長期投資資金(投資有価証券)に係る資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額20百万円は、本社建物の設備投資額等であります。
- 3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【訂正後】

- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 連結 財務諸表 計上額 (注3) |
|------------------------|---------|--------|--------|-------------|--------|-------------|---------------------------|
| | 機械部品事業 | 電機部品事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,181 | 4,917 | 11,098 | 3 | 11,102 | — | 11,102 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 52 | 2 | 55 | 11 | 67 | △67 | — |
| 計 | 6,233 | 4,919 | 11,153 | 15 | 11,169 | △67 | 11,102 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 953 | 281 | 1,235 | △3 | 1,231 | △475 | 755 |
| セグメント資産 | 7,884 | 5,091 | 12,976 | 120 | 13,096 | 3,021 | 16,118 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費 | 295 | 152 | 447 | 0 | 447 | 107 | 555 |
| 減損損失 | — | 69 | 69 | — | 69 | — | 69 |
| 持分法適用会社への投 資額 | 648 | — | 648 | — | 648 | — | 648 |
| 有形固定資産及び無形 固定資産の増加額 | 1,414 | 243 | 1,658 | — | 1,658 | 20 | 1,678 |

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業等を含んでおります。
- 2 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△475百万円は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は当社管理部門の一般管理費(△461百万円)であります。
- (2) セグメント資産の調整額3,021百万円は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産であります。全社資産の主なものは、賃貸不動産及び長期投資資金(投資有価証券)に係る資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額20百万円は、本社建物の設備投資額等であります。
- 3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 4 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)を当連結会計年度から適用しており、表示方法の変更を行ったため、前連結会計年度のセグメント資産については、表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しております。

以上